

# 「地域の景観と農地を守る」

耕作できない地権者の方の受け皿となり、そして、経営面積の拡大に努め希望ある農業を目指すプラン

氏名 田中 幸夫  
田中 将人

## 1. はじめに

近年地域周辺では、耕作できない農家の方が増えてきている状況を耳にするようになりました。つきましては、私は、耕作できない方の受け皿として経営面積の拡大を目指したいと考えています。

そして、委託者の方は元より当集落又、近隣集落の方々から私に管理してもらってよかったと喜んでもらえるような栽培管理を目指し、地域周辺の景観と農地を守りたいと思います。

そして、当集落及び、近隣集落では一般栽培米及び採種栽培農家の方が一生懸命栽培管理をやっています。そうした中で、以前JAの職員として営農指導員又、近年では██████生産組合の栽培指導部の指導部委員としての経験を活かし地域の方に喜んでもらえるような栽培指導を行いたいと思います。また、他集落の用水路の共同清掃作業等にも積極的に参加し、そして、地域の方々に信頼されるような農家を目指したいと思っています。

そして長男は、集落の担い手として新規に就農し農業経営を引き継ぎたいとの希望で平成18年度より水稻栽培（採種圃）面積400aの規模から大型経営農家を目指すこととなりました。この間長男は平成19年度に新規就農計画の認定農業者として頑張っています。また、私も平成27年度に農業経営改善計画の認定農業者として、各関係機関又、地域の方々の協力を得ながら不耕作者の方の受け皿として家族3人で取り組んでいるところです。

つきましては、水稻栽培面積が拡大していく中において、家族全員が農業経営に参画する必要性を思い、平成30年度に家族協定書の締結をし、家族3人でそれぞれの作業の役割分担を励行し頑張っているところです。そして、農業経営の安定的経営基盤の確立を図るため、さらなる規模拡大を目指し、「本プラン」が成功するよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

## 2. 経営理念

- (1) 不耕作者の受け皿となって、地域の方の協力を得ながら着実に水田面積の規模拡大に努め、そして、水稻栽培の技術の研鑽に励み1人1人が常に経営の参画者であることを認識し、安定的経営基盤の確立を目指します。
- (2) 農業経営に係る知識を習得するため、各関係機関の研修会、講習会等に積極的に参加するよう努める。
- (3) 地域の方の協力を得ながら、信頼と模範なる農家を目指します。

### 3. 経営の現状と計画

#### (1) 経営規模の現状と計画

単位：アール

項目	H30 (現状)	R1	R2	R3	R4 (目標)	備考
経営面積(計)	1,092	1,261	1,360	1,450	1,570	
うち所有地	35	35	35	35	35	
うち借地	1,057	1,226	1,325	1,415	1,535	
品目別栽培面積						
水稻						
コシヒカリ(種子)	430	475	400	400	400	
きぬむすめ(種子)	370	424	400	400	450	
コシヒカリ(特裁)	0	0	0	90	90	
きぬむすめ(特裁)	0	0	0	550	620	
ひとめぼれ(一般)	282	242	0	0	0	※R2年度は 特裁に準拠し た栽培
きぬむすめ(一般)	0	110	550	0	0	
秋冬白ネギ	10	10	10	10	10	
水稻栽培面積 ①	1,082	1,251	1,350	1,440	1,560	
秋冬白ネギ ②	10	10	10	10	10	
①+② 栽培面積	1,092	1,261	1,360	1,450	1,570	

#### (2) 農業労働力(現状と計画) ※別紙参考資料①～⑨

	白ネギ出荷		育苗 畦塗り 畦草刈		耕耘・田植 施肥 代かき		水稻栽培管 理他		収穫 乾燥調製 梱摺		白ネギ栽培 管理他		白ネギ出荷		計 上段：現状 下段：目標
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
田中幸夫	10 (15)	15 (25)	15 (10)	20 (25)	25 (25)	25 (25)	20 (20)	19 (20)	18 (26)	18 (27)	10 (15)	15 (15)	210 (248)		
田中将人	10 (15)	15 (25)	18 (10)	25 (25)	25 (25)	25 (25)	20 (20)	20 (20)	20 (26)	22 (27)	15 (15)	15 (15)	230 (248)		
	10 (15)	15 (25)	15 (10)	10 (10)	15 (15)	10 (10)	14 (10)	10 (10)	11 (16)	10 (20)	10 (5)	15 (15)	145 (161)		
雇用(4人)			0 (3)	0 (1)	0 (1)				0 (1)	0 (7)			0 (12)		

(3) 農業機械施設の整備状況 (R1年11月時点)

保有機械施設	台数	規格・能力	導入年度 中古導入	備考
コンバイン				
コンバイン				
コンバイン				
トラクター				
トラクター				
トラクター				
田植え機				
ウイングハロー				
播種機				
畦塗機				
ドライブハロー				
ブロードキャスタ ー				
デスクロータリー				
ネギ堀機				
管理機				
ネギ皮むき機				
ネギ磨き機				
軽トラック				
軽トラック				
格納庫				
格納庫				
格納庫				
育苗散水用貯水 槽				

## (4) 生産・販売・(実績・計画)

区分	年 度 項 目	H30 (実績)	R1	R2	R3	R4 (目標)
※水稲種子 ・コシヒカリ	栽培面積(a)	430	475	400	400	400
	10a 当たり収量(kg)	416	480	480	480	480
	出荷収量(kg)	17,906	22,800	19,200	19,200	19,200
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					
※水稲種子 ・きぬむすめ	栽培面積(a)	370	424	400	400	450
	10a 当たり収量(kg)	490	480	480	480	480
	出荷収量(kg)	18,130	20,352	19,200	19,200	21,600
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					
※特別栽培米 ・コシヒカリ	栽培面積(a)	0	0	0	90	90
	10a 当たり収量(kg)	0	0	0	480	480
	出荷収量(kg)	0	0	0	4,320	4,320
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					
※特別栽培米 ・きぬむすめ	栽培面積(a)	0	0	0	550	620
	10a 当たり収量(kg)	0	0	0	480	480
	出荷収量(kg)	0	0	0	26,400	29,760
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					
※一般米 ・ひとめぼれ	栽培面積(a)	282	242	0	0	0
	10a 当たり収量(kg)	430	450	0	0	0
	出荷収量(kg)	12,100	10,890	0	0	0
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					
※一般米 ・きぬむすめ ※R2 年度は 特裁に準拠し た栽培	栽培面積(a)	0	110	550	0	0
	10a 当たり収量(kg)	0	450	480	0	0
	出荷収量(kg)	0	4,950	26,400	0	0
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					

※秋冬白ネギ	栽培面積(a)	10	10	10	10	10
	10a 当たり収量(kg)	1,700	2,250	2,250	2,250	2,250
	出荷収量(kg)	1,700	2,250	2,250	2,250	2,250
	1kg 当たり単価 (円)					
	販売高 (千円)					
合計栽培面積 (a)		1,092	1,261	1,360	1,450	1,570
合計販売高 (千円)						

#### 4. プラン目標及び目標達成のための課題と改善内容、その効果

：プラン実施期間 令和1年～3年（3年間）

：目標年度 令和 4年

### （1）目標：水稲栽培面積の拡大

※数値目標：現状栽培面積 1,080aから1,560aへの拡大を目指す。

①課題（現状）と改善策について（別紙参考資料—2ページ）

（ア）今後、水稲種子栽培面積の拡大に期待できないことから、特別栽培米面積の拡大を目指す。

（イ）XXXXXXXXXX受託者協議会及び農地中間管理機構等の協力と情報を得ながら、特別栽培米面積の拡大を目指す。

（ウ）不耕作者の方から声を掛けられるような栽培管理を目指す。

②期待される効果

：水稲栽培面積の拡大により、所得の向上と安定的経営基盤の確立ができる。

③令和元年品種ごとの耕作地見取り図（本プラン53～56ページ）

### （2）目標：特別栽培米の生産拡大

※数値目標：現状特別栽培米生産量 0kgから34,080kgへの拡大を目指す。

①課題（現状）と改善策について（別紙参考資料—1ページ）

：特別栽培米「きぬむすめ」の乾燥調製がJAではできないため、特別栽培に取り組むために、乾燥調製施設を整備する。

②期待される効果

（ア）付加価値を加えた緑肥（レンゲ後）及び減農薬栽培方法として、有利販売に期待できる。

（イ）比較的安定した収量と1等比率の高い又、有利販売に適した「特別栽培米きぬむすめ」の栽培面積の拡大に努め、所得の向上に期待することができる。

### (3) 目標：水稻の品質向上

※数値目標：特別栽培米 「1等比率70%」以上を目指す。

※数値目標：種子栽培 「精粍率 80%」以上を目指す。

①課題（現状）と改善策について（概要は、別紙参考資料—1ページ）

：現在、移植の遅れ等により種子の精粍率が低下傾向である。目標を達成するため、水稻主要農作業（移植日、収穫日）を適期に実施する。又、中干し、間断かん水、早期落水防止等適切な水管理を徹底して行う。

②期待される効果

：特別栽培米「1等比率」及び種子栽培「精粍率」の向上による所得の向上と安定的経営基盤の確立が期待される。

※天候不順

※過去5年間の実績と目標 ※籾枯細菌病 ※高温障害 目標年度

品種	項目	H-26	H-27	H-28	H-29	H-30	R-1	R-4
特栽米 ・コシカ ・キヌムスメ	移植日	—	—	—	—	—	—	6/3
	反収(kg)	—	—	—	—	—	—	480
	1等比率	—	—	—	—	—	—	70%
種子 ・コシカ	移植日	5/23	5/22	5/22	5/25	5/27	5/30	5/20
	反収(kg)	390	520	540	480	410	—	480
	精粍率	73	83	85	80	76	—	80%
種子 ・キヌムスメ	移植日	6/3	6/2	6/3	6/8	6/10	5/9	5/25
	反収(kg)	440	570	560	520	490	—	500
	精粍率	76	87	86	84	80	—	85%

### (4) 目標：大型トラクターの導入による

#### 適期作業の実施（移植日）

※数値目標：現状5月27日～6月12日 を 5月20日～6月8日を目指す。

①課題（現状）と改善策について（概要は、別紙参考資料—2ページ）

：現状の機械では耕耘、代かき作業に時間を要するため、適期に移植ができていない。そのため大型トラクターを導入して、適期作業の実施を可能にする。

②期待される効果

：大型トラクター等の導入により、耕耘、代かき作業の効率化により適期に移植が可能となる。

## 5. 具体的な取り組みと役割分担

具体的な取組	R1	R2	R3	R4 (目標年度)	役割分担
・ 水稲栽培面積の拡大	○	○	○	○	事業主体
・ 特別栽培米の生産			○	○	事業主体
・ 有利販売・販路の拡大			○	○	事業主体
・ 安定的収量・収益の確保	○		○	○	事業主体
機械設備の充実					県、市、事業 主体
・ トラクター	◎				
・ ウイングハロー	◎				
・ 乾燥調製施設		◎			
・ 乾燥機			◎		
・ 荷受けホッパー			◎		
・ 籾摺機			◎		
・ 籾粗選機			◎		
・ 選別計量機			◎		
・ 米袋リフトアップ装置			◎		
・ コンプレッサー			◎		

○：事業主体によるもの（補助事業活用なし）

◎：鳥取県、鳥取市の支援の必要なもの（がんばる農家プラン事業）



## 6. 支援事業の内容 (年次計画)

(単位：千円、支援事業費は税抜)

項目	台数	R1	R2	R3	負担区分
・トラクター (55PS、作業幅 2.0m)	1	4,070			
・ウイングハロー (作業幅 3.6m)	1	883			県 1/3
・乾燥調製施設 (90 m <sup>2</sup> 、12 坪)	1		9,013		市 1/6
・乾燥機 (65 石、6,500kg)	1			2,676	事業主体 1/2
・荷受けホッパー (10t/時間)	1			430	
・糶摺機 (1,080kg/時間)	1			635	
・選別計量機 (1,200kg/時間)	1			360	
・糶粗選機 (1,500kg/時間)	1			240	
・米袋リフトアップ装置	1			106	
・コンプレッサー (2900/1 分)	1			262	
合計		4,953	9,013	4,709	

## 7. 機械導入理由と規模決定根拠

### ①トラクター（55PS）、ウイングハロー（作業幅 3.6m）

（ア）適期作業を可能にするための耕耘作業幅 2.0m、代かき作業幅 3.6m の作業能力を満たす 55PS のトラクターを選定した。

（イ）利用面積

利用機械名	作業内容	利用面積（a）
トラクター(55PS)	耕耘作業（2回）	1, 8 6 8
	代かき作業	9 3 4
	合計	2, 8 0 2

※特定高性能農業機械の利用規模の下限：670a を満たす。

（ウ）目標の春作業計画表 別紙参考資料—1 6 ページ

### ②乾燥調製施設兼農機具及び資材保管施設

（ア）乾燥機等の設置、生粃の荷受け及び粃摺作業場所又、製品の仮保管場所等により、90㎡（27坪）の施設整備が必要であるため、大型倉庫仕様を選定した。

（イ）施設内の乾燥機等の施設及び活用場所等の見取り図

別紙参考資料—2 3、2 4 ページ

### ③乾燥機一式（65石）

（ア）良質米を確保するため、適期刈取り日から1週間以内の収穫目標を目指すには、1日当たり90aの面積を刈り取る必要があるため、生粃の搬入量（1日当たり6,030kg）を処理可能な仕様を選定した。

（イ）収穫及び粃摺作業等の計画表 別紙参考資料—1 9～2 1 ページ

### ④粃摺機（ロール幅3インチ、能力720～1,080kg/h）

（ア）目標収量の34,080kg（内訳：コシヒカリ4,320kg、きぬむすめ29,760kg）を1日の作業時間を7時間として、1日に5,650kg処理することで、コシヒカリで1日、きぬむすめで6日程度で処理可能な仕様を選定した。

（イ）粃摺及び出荷作業等の計画表 別紙参考資料—2 1 ページ